

日野総合事務所だより

2013 Mar 最終号
(第50号)



鳥取県

※イラストは、日野総合事務所HP「日野ごよみ」のキャラクター“おひのちゃん”と“ひのすけくん”。日野町の民芸品「石こけし」がモデルとなっています。

- P2 | 特集: 日野郡のエコツーリズム
- P4 | 鳥取力創造運動 (日野郡団体の活動紹介)
- P6 | 農業の新しいチャレンジを応援します
- P7 | 林業作業を実地で学ぶ講座が好評!
日野町鶴の池から矢倉峠までの道路が整備されました
- P8 | 鳥取力創造運動支援補助金のご案内

このページは日南町、日野町、江府町、日野総合事務所が連携、共同して情報発信しています。
(鳥取県日野地区連携・共同協議会実施事業) 今回は、エコツーリズムの取組みの紹介です。



日野郡のエコツーリズム

今秋、「エコツーリズム国際大会」開催!

注目されるエコツーリズム 日野郡には輝く宝がある

最近、「エコツーリズム」という言葉をよく耳にしませんか。「エコツーリズム」とは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域資源の魅力を観光客に伝えることで、地域住民自らが資源の価値や大切さを理解・再評価し、保全につなげていくことを目指す観光の考え方です。観光客にこのすばらしい地域を鑑賞して楽しんでいただくことはもちろん、地域の暮らしの安定や、資源の保護、保全も目的としています。

日野郡には、みなさんの身近なところに輝く宝物がたくさんあります。大山や日野川などの美しい自然、「たたら」や奥大山古道、出雲街道などの歴史文化、ヒメボタルやオシドリなどの生き物、おいしい水や食べ物等々、いずれも魅力ある宝物のような地域資源です。

近年では、これらの資源を活かして多くの人と交流しようとする地域の活動が盛んになってきています。

日野郡も国際大会の会場に 日野郡版エコツーリズムメニューづくり

鳥取県では、美しい自然や、温泉、歴史文化、美味しい食べ物などの資源を生かしたエコツーリズムの推進に力を入れています。今年10月には「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」が開催され、日野郡内では江府町の鏡ヶ成、日野町のラフティングや「たたら」などが国際大会エクスカーションコース(体験型ツアー)となる予定です。

そこで、これらの活動をさらに磨き上げ、いくつかを連携させることで、魅力ある日野郡版エコツーリズム旅行商品を作ろうと、日野郡内の行政、民間団体、企業などで組織する「日野郡広域交流促進協議会」(以下「交流協」)でエコツーリズムメニューづくりを始めました。

メニューの商品化を目指して

まず、郡内資源の魅力を知ろうと、昨秋に郡内の観光スポットなどを現地調査し、どう活かしていけばよいかを皆で検討しました。

次に、その成果として、「オシドリ観察」↓「根雨宿・出雲街道まち歩き」↓「古民家体験」↓「山里の自然体験」という冬季のモデルコースを作り、ガイド候補の方を対象としたお試しツアーを実施しました。

今後、交流協ではモデルコースや各体験メニューを紹介した「エコツーリズムガイドブック」を作成します。また、「日野総合事務所HPで日野郡のエコツーリズムメニューを紹介したりするなど、日野郡の魅力を発信していく予定です。日野郡版エコツーリズムを具体化し、日野郡を元気に！」が目標です。

エコツーリズム国際大会2013in鳥取 2013.10.19(土)・21(月) 主会場:米子コンベンションセンター

【大会テーマ】
森・里・海、水の連環と人々の営み
鳥取ならではの自然、歴史、文化などにふれる体験型観光についての講演、エクスカーションなどを実施し、「住まうように旅する」とっとりスタイルのエコツーリズムを世界に発信します。

【大会シンボルマーク】
◆リボンのモチーフは水の繋がりを表すとともに、どこかが途切れてしまえば成り立たなくなってしまう自然の連環を表します。
◆デジタルハリウッドSTUDIO米子第1期受講生 北里彩絵さんと大会事務局が協同で作成しました。



【主催】 エコツーリズム国際大会2013in鳥取実行委員会
【共催】 NPO法人 日本エコツーリズム協会

日野郡版エコツーリズム メニューづくり現地調査

◆調査時期…平成24年10月5~11日
◆参加者…交流協会員と関係者 10数名
◆調査場所…日野郡内の観光スポット

【鳥取岡山県境の眺望スポット】



きめんだい 鬼女台展望休憩所(江府町鏡ヶ成) はるか大山を展望。雲海や日の出も観ることができる絶好の眺望スポットです。

【日本一の金運スポット】



かもち 金持神社(日野町金持) 全国からもたくさんの参拝者が訪れます。お賽銭の準備をして金運アップを祈りましょう。

【高原景観を楽しむスポット】



よびこ 呼子高原(日南町菅沢) 呼子キャンプ場の奥には、平坦な里山やきれいな清流があります。まだあまり知られていない穴場です。

【大国主命の復活スポット】



おおいわみ 大石見神社(日南町上石見) 珍しい突然変異種のおハツキタイコイチョウを多くの人に知ってもらいたい!

◆日野郡版エコツーリズムメニュー造成に向けた参加者の声

- 出雲街道は岡山県新庄村とタイアップしたものができればおもしろい。
- サクラソウ保護のボランティア作業を組み入れた3月の花の観察会をやってみたい。
- 11月上旬の紅葉の綺麗な時期に4・8kmの奥大山古道ウォークを楽しんでほしい。
- エコツーリズム国際大会があるので、大山地域と協力してプログラムを作りたい。
- 自然を守りながら活動を続け、より多くの人に地域の宝を見てもらいたい。

(注)H25.4.1より組織名が変わります。電話番号も変わることがあります。

問い合わせ先 日野地区連携・共同協議会事務局(県民局内) 0859(72)2083

鳥取力創造運動

平成24年度は、鳥取力創造運動支援補助金を活用された日野郡内の団体は15団体でした。その特色ある活動内容をご紹介します。みなさんの地域でも鳥取力を発揮する活動に取り組みましょう。

日南町 大宮たたら研究会

会長 河村達也さん

日南町大宮地域のたたらに関する歴史を研究し、資料の収集保全をすため、平成24年1月に設立した団体です。

今年度は現地を实地調査し、当時のたたら場の風景や作業の様子を再現したジオラマや復元パネルを作成し、「たたら楽校 大宮楽舎」(日南町印賀、旧大宮小学校)に展示しました。



「野たたら」の様子を再現したジオラマ

日南町 日南町福祉まつり実行委員会

実行委員長 小谷博司さん

障がい者を中心にして多くの人が出会い、住民自らが福祉活動に参加する機会を設けることを目的とした。

日南町 多里まちづくり推進協議会

会長 山形美智也さん

昨年度に引き続き、東京谷中よみせ通り商店街との交流として「わくわく感謝祭」へ参加しました。感謝祭では、伝統芸能「かしらうち」の披露や多里産のもち米を使った餅つき、野菜販売を行い、大盛況でした。



東京谷中商店街にて

日野町 奥日野ガイド倶楽部

会長 田貝英雄さん

奥日野地域の歴史文化の魅力語るガイドの養成と、新たな体験プログラムをの造成を中心に地域活性化を目指すグループです。

昨春秋に開催したガイド付ツアー「ねうブラ(じっくりコース)」では、参加者7名に約2時間をかけ根雨の魅力味わってもらいました。また、「子どもガイド養成講座」を開催し、次世代のガイド養成も行いました。

今後は、プログラムをもっと充実させ、奥日野地域一体で取り組めるような大きなキャンペーンの計画実施を目指しています。

「日南町福祉まつり」を実施する団体です。

昨年7月の2日間にわたり、日南町総合文化センターで「第2回福祉まつりin日南町」を開催しました。延べ約350人の来場があり、ミュージックボトルやセミナー等を通じて多くの人の出会いが生まれました。

日南町 福栄さくらそつを守る会

会長 榎木建明さん

特定希少野生動物植物に指定されているニホンサクラソウの生育環境を守り、次世代に受け継ぐことを目的とした団体です。

日南町内の自然風景や花、生息する動物植物などを題材にした写真コンテストを開催しました。コンテストは今年度で3回目、応募された作品は日南町総合文化センターなどに展示されました。

日南町 野土香

代表 遠藤千嘉子さん

日南町の気候に合った作物を自分たちで栽培から加工販売まで行っている団体です。

今年度は新たに赤茎ルバーブと千

成ほおずきの栽培と加工に取り組み商品化を目指しています。

日南町 日南町文化伝承の会

会長 大柄重人さん

日南町の伝統ある行事や文化的芸能遺産を末永く後世に伝承し保存することを目的とした団体です。

日南町伝統芸能祭「日南の四季」(伝承)を今年1月に開催しました。祭りには南部町の伝統芸能「法勝寺子ども歌舞伎」も出演し、継承していく大切さを伝えることができました。



「野たたら」の様子を再現したジオラマ

日南町 大宮里山まつり実行委員会

委員長 古都純孝さん

日南町大宮地域の伝統文化を受け

日野町 黒坂鏡山城下を知ろう会

会長 牧智也さん



日本刀による演舞

日野町黒坂にある鏡山城址をはじめとした黒坂地区周辺に現存する史跡等の保護と正しい歴史を知ることにより、地域の活性化を図る団体です。

昨年9月にイベント「鏡山城主「関一政」を偲ぶ1日」を開催しました。鏡山城址に建てた四阿(あずまや)での演舞奉納と城址での野点(のだて)を行いました。また、「蒲生氏郷と関一政」と題した歴史講演を行い、黒坂地区の歴史の深さを学びました。

日野町 黒坂3区自治会

会長 柴田滋さん

日野町黒坂地区で行われるイベントに自治会として協力することで、住民同士が協力しあう強い絆づくりを目的としています。

昨年8月に黒坂地区内の道路側帯に竹灯籠を設置し、幻想的な雰囲気作りを行い、黒坂納涼まつりや鏡山城下を知ろう会イベントに来られる多くの人達を魅了しました。大晦日から元旦にかけ、神社境内の石段にも竹灯籠を設置し、初詣の厳かな雰囲気を出しました。

日野町 「白ひしひの会」 生田長江顕彰会

代表 河中信孝さん

日野町出身の文学者生田長江を多くの方に知ってもらおうと、平成19年に日野町図書館が事務局となり発足したグループです。

2月に作家の荒波力さんをお招きし、生誕130年記念講演会を開催しました。3月には「生田長江の震災日記」を刊行予定です。

江府町 江府町青年団

団長 高津亮一さん

団員数の減少により活動休止していましたが、平成23年に約10年ぶりに活動を再開しました。

今年2月に、江府町の魅力である「自然」と「食」を多くの人に楽しんでもらい出合いを提供するイベント「冬コン♡in♡奥大山」を開催。

継ぎ、住民同士の連帯感を深めるための交流イベントを実施する団体です。

昨年8月に行われた「おおみや里山まつり」では地域内外から約200名の来場があり、どじょうのつかみ取り等のおもしろ体験コーナーや野菜の収穫体験などを楽しめました。また、どじょうの唐揚げやおはあちゃんの漬物など食べ物屋台も来場者に好評でした。

日南町 福栄まちづくり協議会

会長 福田憲一さん

古事記編纂1300年記念事業として、古事記伝承の地大石見神社や観光スポットを巡る天体街道ウォーキング大会を開催しました。

当日は、鳥取県出身でミスワールド日本代表にも選ばれた佐々木えりざさんや初代住みます芸人のユウトさんらと参加者がウォーキングを楽しみました。

江府町 笑和会

会長 松原寛さん

会員の個性や特技を活かしながら地域での支え・助け合いを行うとともに地域の活性化を図る団体です。昨春秋に鳥取大学医学部学生と交流会を行いました。学生と笑和会のある江府町吉原地区は、地域医療の研究調査をきっかけに交流が始まりました。交流会当日は地区住民手作りのご馳走で大いに盛り上がりしました。

江府町 トンカチ屋さん

会長 末次喜三郎さん

高齢世帯や独居世帯の軽作業を支援し、あわせて会員の生き甲斐、やる気、健康づくりを目的として活動している団体です。

今年度は、団体設立10周年記念事業として7月に落語会を開催しました。当日は地域内外から多くの方が訪れ、会場が笑いに包まれていました。



「露の新治」さんによる落語

農業の新しいチャレンジを応援します

1×2×3=6 【日野モデル】 一歩踏み出す6次産業化支援事業

6次産業化とは

第1次産業を営む農林水産業者が、生産だけにとどまらず、それを原材料として食品加工（第2次産業）や流通販売（第3次産業）にも踏み込んで業務展開することを6次産業化といいます。（1、2、3をかけ合わすと6になることから提唱された造語です）

例えば、産地直売所の設置、加工品の製造販売、観光農園や農家レストランの経営などがこれにあたります。

日野農林局では、特に農産物の加工品製造を進める取り組みをしています。



トマトジュースの加工実習

日野郡農業の6次産業化のススメ

日野農林局では、様々なかたちの6次産業化を進めています。なかでも夏から秋にかけて収穫した農産物を冷凍庫で保存し農閑期である冬に加工をするスタイルの事業に力を入れています。

このため、初めて加工に取り組む農業者個人やグループを対象として、加工実習に必要な経費を助成する事業を今年度から実施し、6次産業化に踏み出すきっかけづくりを支援しています。

リスクが少ないのでチャレンジしやすい！

平成24年度は、日南町の新規就農者グループが、自分たちが栽培したトマトを冷凍保存して冬の農閑期にトマトジュースの加工をする実習に取り組みました。冷凍庫のリース料、実習の講師謝金等を農林局と町が助成したので、設備投資の大きなリスクもなく実習にチャレンジすることができました。



トマトジュースの加工実習

来年度の希望者を募集します

平成25年度に新たに農産物の保存、加工を試験的に取り組んでみたい方を募集しています。

どんな農産物、加工品でもかまいません。加工に興味のある方はお気軽にご相談ください。

【補助事業の概要】

- 事業名 【日野モデル】一歩踏み出す6次産業化支援事業
- 補助対象者 初めて加工に取り組む日野郡内の農業者（個人、グループ）
- 補助内容 日野郡内で農業の6次産業化への取組に向けて試験的な加工実習を行う事業
・講師指導による試験的な加工実習
・加工実習を行う上で必要な機材の借上げ
- 補助対象経費 講師報償費、リース料、光熱水費、消耗品費（主要原材料費を除く）

林業作業を実地で学ぶ講座が好評!

昨年度に引き続き、林業へ新規就労された方向けに『日野川流域森づくり実践講座』を開催しました。

この講座は、森林評価、路網整備、チェーンソー取扱、伐木造材、高性能林業機械、作業システム、ロープワーク、ワイヤプライスなど12のメニューからなり、受講者は自身のレベルや仕事のスケジュールに合わせてメニューを選択し参加することが出来ます。内容は、基礎的なことはもちろん、海外情報なども取り入れ、できるだけ幅広く様々な手法や道具を紹介するようにしており、より実践的で現場で活用できるよう工夫しています。



受講後のアンケート調査では、

- ・「以前、他の講座で同じような内容の講座を受講したが、その時よりも現場で役立つような内容だと感じた。」（路網計画I参加者）
- ・「机上だけでなく、実際に山に入ってみると危険な箇所が良くわかった。」（路網計画II参加者）

林業事業者や森林組合の作業員、椎茸生産者、建設事業者の作業員、建築士、公務員と様々な職業の方が受講しておられ、今年度の受講者数は1月末時点で延べ48名です。

「感覚でなく理論的にどういった方法がベストなのか教えていただき、とても腑に落ちました。」（チェーンソー取扱基礎参加者）

など、受講者から高い評価をいただきました。

問い合わせ先

農林局 林業振興課
電話 0859-72-2018

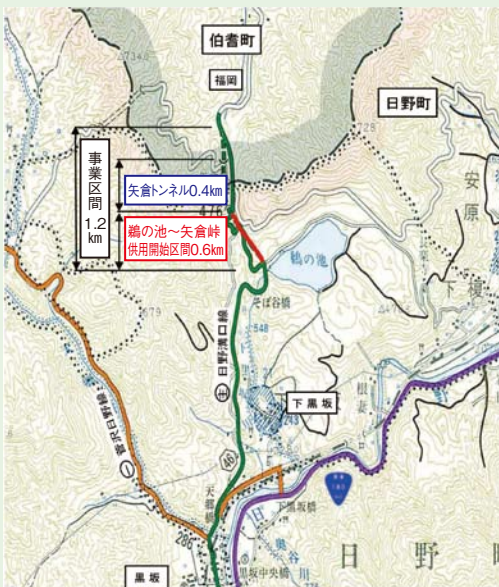
(注) H25・4・1より組織名が変わります。電話番号も変わることがあります。

主要地方道日野溝口線

日野町鵜の池から矢倉峠までの道路が整備されました

主要地方道日野溝口線は中山間地域の生活、産業、観光を支える幹線道路で、国道180号の代替となる重要な道路です。しかし、日野町下黒坂市内では道幅が狭く車両のすれ違いが困難で、全体的に急勾配や急カーブが続くため特に冬場は交通の難所となっていました。そこで、県土整備局では日野町下黒坂から伯耆町福岡の1.2kmについて、交通難所の解消や生活道路の確保等を目的として、平成20年から2車線のバイパス工事を始めており、平成24年12月13日には、鵜の池から矢倉峠までの約0.6kmの道路の供用を開始しました。これにより、道幅も広くカーブや勾配が緩やかになり、冬季に向けて安全に通行できる区間が増えました。現在、矢倉峠を貫く矢倉トンネル(延長422m)の工事を引き続き行っており、平成26年度末の全線供用開始を目指して整備を進めています。

【整備区間の地図】



供用開始した道路
(日野町下黒坂)

問い合わせ先

県土整備局 道路整備課
電話 0859-72-2067

(注) H25・4・1より組織名が変わります。電話番号も変わることがあります。

鳥取力創造運動支援補助金のご案内

活力ある地域を創造するため、様々な取組を支援します。年3回、事業の募集を行う予定ですので、ぜひご応募ください。内容は変わることがありますので、詳しくはお問い合わせください。

★本紙4、5ページに平成24年度に日野郡内で支援を受けた団体の取組みをご紹介しますので、参考にしてください。

1次募集 3月22日(金)～4月19日(金) 予定

【補助金の概要】

- スタートアップ型** … 新たな取組、これまでの取組の拡充
(新規) ・上限10万円 (補助率10/10)
- スタートアップ型** … 工夫を加えて継続する取組
(継続) ・上限10万円 (補助率3/4)
・平成24年度以前にスタートアップ型新規の補助を受けた事業
- 発展型** … 他モデルとなり地域活性化に貢献する取組
・上限100万円 (補助率3/4)
新《市町村連携コース》(事業実施期間は2年間)
発展型の取組で、かつ複数の市町村と連携・共同する取組
- ネットワーク型** … 複数の活動団体が協力・連携して新たな成果を生み出す取組
・上限200万円 (補助率3/4)
・3団体以上が集合した活動団体(実行委員会、協議会等)
新《市町村連携コース》(事業実施期間は2年間)
ネットワーク型の取組で、かつ複数の市町村と連携・共同する取組

【対象団体の例】

NPO、ボランティア団体、自治会、企業(社会貢献的な活動)など
発展型の市町村連携コース、ネットワーク型においては、実行委員会、協議会など

【対象活動の例】

環境、福祉、地域交流、文化、農林水産、観光、地域催事など地域活性化を図る取組

問い合わせ先 県民局商工観光課 0859-72-2081

(注) H25.4.1より組織名が変わります。電話番号も変わることがあります。

【お知らせ】

日野総合事務所は平成25年4月1日より西部総合事務所日野振興センターに変わります。「日野総合事務所だより」も新しく生まれ変わる予定です。

日野総合事務所だよりをご愛読いただき、
ありがとうございました。



編集発行：鳥取県日野総合事務所県民局 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1
TEL 0859-72-0321(代) FAX 0859-72-2072
E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp URL <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=1700>